

一条福祉館だより No.424

差別は「される側」ではなく「する側」の問題

【8月を振り返って】

今年の夏もいろんなことがありました。

熊本を震源地にした地震では、大きな被害が出ました。余震が繰り返す中、まだ復興に向けた様々な活動が続けられています。熊本に住んでいる知人や友人も大変な日々を過ごしているそうです。一日も早く元の生活を取り戻されることを願っています。

他には、ソフトバンクホークスが絶好調だったこと。福岡県民として、特にタマスタを誘致している筑後市民としては（私は八女市民ですが、職場が筑後にあるので・・・）うれしく感じています。ぜひリーグ3連覇をかなえてほしいです。

しかし、一方では福岡県民として筑後市に関わる者として複雑な気分になってしまうこともありました。福岡県議会のことです。私の知る限り多くの県民・市民は真面目にコツコツと働いている人たちばかりで、パーティー券のことや海外視察の金額など考えると複雑を通り越して腹立たしさを感じます。今後真相の解明に向けてきちんと調査していただきたいものです。同時に私たちも政治に関心を持ち続けなければならないと思いました。

もう一つあります。それは、核兵器に関することです。8月6日（広島市）、8月9日（長崎市）の平和記念式典で、各市長の平和宣言や子どもたちの平和の誓いと、総理大臣のスピーチには正直なところ温度差を感じました。また、一部のインターネット上では「平和教育という名の偏向教育」という表現がありました。辺野古での関西の高校の転覆事故があったため、それを非難する人たちが反応しているようですが、平和教育そのものが間違った教育ではないはずです。



「ゲルニカ」 パブロ・ピカソ(1881年-1973年)

ピカソはこの絵に強烈な「反戦と平和への願い」を込めたと言われています。

それに、「被爆者が高齢者になって直接その声を聞くことが出来なくなった」とよく言われます。それは確かなことです。しかし、私たちはこの言葉を言い訳にはしてはいけないと思います。市内の小中学校では、8月6日を出校日にして平和学習をしています。若い先生たちを含め、私も戦争を知りません。しかし、たくさんの情報は受け取っているはずです。また、私たちには想像する力もあります。私たち自身が注意深く暮しを見つめ丁寧に子どもたちに「平和の大切さ」と「戦争は悪であること」を伝えていかななくてはなりません。

今、世界では武力で他国を攻撃し、支配しようとしている国もあります。ロシアは核兵器の使用も匂わせました。それに対しフランスは核兵器の増強を表明しています。また、我が国でも非核3原則の見直しを検討しているような動きがあります。81年前にあれほど猛省し、「2度と繰り返さない」と強く決意したのに、時間の経過、世界の動向（特に核抑止論や実際の大国の在りよう）などの影響を受け、「2度と繰り返さない」の中身が「2度と被害者にならない」や「国民を守るために」に解釈を変えて国の方針も変わろうとしているのではないかと心配しています。

9月行事予定

日	曜	福祉館行事	関係団体行事等	日	曜	福祉館行事	関係団体行事等
1	火	定例会議(8:30~9:30) よろず相談(18:00~19:30)		16	水	福祉館講演会 19:00~	
2	水			17	木		
3	木			18	金		
4	金			19	土		
5	土			20	日	閉館	
6	日	閉館		21	月	閉館 敬老の日	
7	月			22	火	閉館 国民の休日	
8	火	質問教室(16:00~18:00)		23	水	閉館 秋分の日	
9	水	いきいき健康教室(9:30~10:30)		24	木		
10	木			25	金		
11	金			26	土		
12	土		筑同研集会	27	日	閉館	
13	日	閉館		28	月		
14	月			29	火		北中ブロック授業 公開(西牟田小) 人権セミナー筑後
15	火	質問教室(16:00~18:00) よろず相談(18:00~19:30) パソコン教室(19:00~20:30)		30	水	いきいき健康教室(9:30~10:30)	